

生活支援コーディネーター 活動レポート

2023/10月・11月

みんなであつくり



地域共生社会

～生活支援コーディネーター5人の市内24地区での活動状況、地域の取り組みをご紹介します～

サロン活動サポート

身近な地域で誰もが気軽に集い交流できる“ご近所ふれあいサロン”を応援しています。



愛の家なごみ(恩田地区)にて 「なごみサロン」 OPEN☆

ご近所福祉サロン「なごみサロン」(合同会社和の会)がスタートしました。毎週月曜日と金曜日の10時から14時に開催され、参加費は600円。会場は、空き家が活用され、家庭的な雰囲気の中、食事も楽しめます。初回の10月6日は、101歳の方も参加され、みんなで童謡を歌ったり、体操したり楽しい時間を過ごされました。



ご近所ふれあいサロン交流会 4年ぶりに会場に集まって開催♪

オンラインではなく4年ぶりに対面で、わいわいと運営の工夫や悩みを情報交換しました。前半は、「お楽しみサロン楠民舞会」のサロン実施者から民舞を教わり、皆で体験。自分のサロンでもしてみたいという声もあがりました。

後半は、体操、茶話会、趣味活動の3つのテーマに分かれて情報交換。見学に行ってみたい等新たなつながりも生まれました。

サロンニュース

❖認知症カフェの輪も広がっています♪

地域包括支援センター等が中心に、認知症カフェが開所され、現在16か所に増えています。認知症の方やご家族・地域住民・専門職等が集い、認知症や介護のことなどを気軽にお話し、情報交換、不安の共有と解消ができます。

❖サロンからの相談への支援事例

- ・「大正琴をしてみたい」→講師を紹介
- ・「認知症について学びたい」→地域包括支援センターとマッチング など



岬地区の認知症カフェの様子

見守り活動の推進

東岐波地区福祉交流会の開催



福祉交流会が東岐波地区社会福祉協議会の主催で開催されました。地域の課題解決に向けて話し合う“支え合い会議”で交流会に向けての企画が検討され、初めて開催することになりました。

自治会長、民生委員、福祉委員等が参加し、山口大学長谷先生から地域のつながりの大切さについて教えていただきました。交流会は、関係者の顔合わせ・情報交換の場となり、また、連携の重要性を再確認する機会にもなりました。

福祉学習の実施

車いす体験やボッチャによる福祉の学び



思いやりの心を育むため、福祉学習を実施しています。

厚南小学校では授業の一環で車いす体験や高齢者疑似体験、川上地区では文化祭においてボッチャ体験を実施。どのような困りごとがあるのか、どのような支援が良いのかを体験し、学ぶことで、自分にできることを考える機会となりました。今後も福祉学習の実施を通じて、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

10月・11月の活動状況

地域活動に105件参加・支援しました

- ❖ 23か所のご近所ふれあいサロンに訪問させていただき、サロン運営の支援等を行いました。
- ❖ 20件の支え合い会議へ参加し、福祉交流会やデマンドバスの利用等について協議を行いました。
- ❖ その他個別事例
 - ・「ほっとくらせるふくしのまちづくりフェスタ」（北部地区）で活動紹介パネルを展示
 - ・老人クラブ主催の「シニア大学」で地域福祉活動について紹介
 - ・ゴミが溜まってしまう方への支援について市関係課と協議し支援方法を整理
 - ・宇部市社会福祉大会にて「地域共生社会を考える市民フォーラム」を開催 など

